



Expressway コンソールに接続する

Expressway を使用するには、その前にいくつかの基本情報を設定する必要があります。それには、Expressway コンソールに接続し、セキュア インストール ウィザードを完了します。

次に示すいずれかの接続方法を使用できます。

- PC から Cisco Expressway のシリアル ポートへの、ケーブルによる直接接続。
- Serial over LAN で Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ツールを使用したリモート接続。

この章では、次の内容について説明します。

- [はじめる前に, on page 1](#)
- [シリアル ポートを使用した接続, on page 2](#)
- [CIMC Serial Over LAN を使用した接続, on page 3](#)

はじめる前に

1. 背面パネルの LAN1 ポートからネットワークにイーサネット LAN ケーブルを接続します。
2. インストール ウィザードを実行するために次の情報を準備します。
 - Expressway の IPv4 や IPv6 のアドレス、サブネット マスクおよびデフォルト ゲートウェイアドレス。使用するアドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。Cisco Expressway には、スタティック IP アドレスを使用する必要があります。
 - 定義済みのルートおよび管理者のユーザアカウントに適するパスワード：これらのアカウントには強力なパスワードを使用してください。
3. CIMC 接続を使用する場合は、次の追加ポイントも適用されます。
 - a. CIMC 接続には、スタティック IP アドレスまたは DHCP によって割り当てられた IP アドレスが必要です。
 - b. 最小要件である、HTTP と HTTPS が有効になっているブラウザが必要です。

**Caution**

初期インストールには、**KVM**または**vKVM**コンソールを使用できません。これは、セキュアインストールウィザードが**KVM**コンソールに表示されず、**VGA**出力ポートを表示しないためです。したがって、このウィザードは、Expresswayのシリアルコンソールでインストールを完了するまで無制限に待機します。この状況から回復する必要がある場合には、下で説明しているようにシリアルコンソールに接続し、コンソールに対して**Ctrl**キー + **D**キーシーケンスを発行します。インストールウィザードが再起動され、続行できるようになります。

シリアルポートを使用した接続

1. 付属のDB9 to RJ-45 ケーブルをPC (DB9 端) からアプライアンスの背面のシリアルポート (RJ-45 端) に接続します。

互換性を確実にするために、アクセサリパックに付属の青のシリアルケーブルを使用します。これはクロスオーバーケーブルであり、次のピン割り当てがあります。

オス RJ45 のピン	メス DB9 のピン
1	8
2	6
3 TXD	2
4 GND	5
5 GND	5
6 RXD	3
7	4
8	7

2. PCのターミナルエミュレータプログラム (たとえばPuTTY) を起動し、PCのシリアルポートを使用するように次のように設定します。
 - ボーレート : 115200 ビット/秒
 - データビット : 8
 - パリティ : なし
 - ストップビット : 1
 - フロー制御 (ハードウェアおよびソフトウェア) : なし
3. Expresswayコンソールに接続した後、インストールウィザードが表示されるまで待機してから、次の項「[インストールウィザードを実行する](#)」に進みます。



Note 使用後にターミナルエミュレータセッションを閉じます。セッションを開いていると、システムの再起動時に問題が発生する可能性があります。

CIMC Serial Over LAN を使用した接続

CIMCは、Cシリーズサーバの管理インターフェイスです。CIMCはサーバ内で実行され、Web または SSH コマンドラインアクセスを使用したリモート管理、設定、および監視をサポートします。詳細については、[CIMC コンフィギュレーションガイドページ](#)にある『Cisco UCS C シリーズ統合管理コントローラ設定ガイド』を参照してください。

CIMC パスワード要件

この項の説明に従って、CIMCのデフォルトパスワードを強力なパスワードに変更する必要があります。この操作は、DHCP アドレス指定を使用している場合には、CIMC Web インターフェイスに初めてログインするときに実行します。スタティック IP アドレスを使用している場合は、パスワードは初期ブートプロセス中に変更します。

CIMC パスワードには、以下の4つのカテゴリのうちの3つに属する文字が含まれていなければなりません。

- 大文字の英字 A ~ Z
- 小文字の英字 a ~ z
- 数字の 0 ~ 9
- アルファベット以外の文字 : ! @ # \$ % ^ & * - _ = “

タスク 1 : CIMC IP アドレスとパスワードを設定する (1 回限り)

DHCP アドレス指定を使用している場合

1. ネットワークをCIMC/専用管理ポート ([背面パネルレイアウト](#)のポート7) に接続します。
2. 次のいずれかの方法を使用して、USB キーボードと VGA モニタを接続します。
 - KVM アダプタ (三脚ケーブル) をご購入した場合は、CE1300 の前面にあるコンソールポートに接続して、アダプタにキーボードとモニタを接続します。
 - KVM アダプタなしでこのアプライアンスをご購入した場合は、キーボードとモニタをサーバ背面の適切なポートに接続します。
3. モニターで切り替えます。

4. CIMC の正しいアドレスを配信するように DHCP サーバを設定します。MAC アドレスの場合は、プルアウト タブに記載されている *MGMT* アドレスを使用します。
5. CE1300 の電源をオンにします。
6. モニターで起動プロセスを監視します。
7. CIMC アドレスは、初期の電源投入時セルフテストフェーズでは画面の左下に表示されません。



Note CIMC がこの Expressway で有効になりました。CIMC Web インターフェイスに初めてログインすると、デフォルトの CIMC パスワードを変更するように求められます。

8. 周辺機器とアダプタを切断します。

スタティック アドレスを使用する場合

展開でスタティック IP アドレス指定を使用する場合は、次の手順を実行します。

1. ネットワークを CIMC/専用管理ポート (背面パネルレイアウトのポート 7) に接続します。
2. 次のいずれかの方法を使用して、USB キーボードと VGA モニタを接続します。
 - KVM アダプタ (三脚ケーブル) を購入された場合は、CE1300 の前面にあるコンソールポートに接続し、アダプタにキーボードとモニタを接続します。詳細については、「KVM コネクタを示した前面パネル」を参照してください。
 - KVM アダプタなしでこのアプライアンスをご購入した場合は、キーボードとモニタをサーバ背面の適切なポートに接続します。



Note KVM コンソールは、Expressway にアクセスするためでなく CIMC を設定するために使用されます。

3. モニターで切り替えます。
4. CE1300 アプライアンスで切り替えます。
5. モニターで起動プロセスを監視します。
6. **F8** キーを押して CIMC の設定を開始します。
7. デフォルトの CIMC パスワードを変更して、管理インターフェイスの IP アドレスを設定するように求められます。
 - a. **CIMC パスワード要件**に記載された条件と一致する強力なパスワードを設定し、**Enter** キーを押します。

- b. パスワードを変更したプロンプトで、もう一度 Enter キーを押してパスワードの変更を完了します。



Note 「新しいパスワードがパスワード要件に一致しない場合でも、システムがその旨を通知しない」という問題があることが知られています。この場合、CIMC Web インターフェイスに最初アクセスする (タスク 2) ときに、指定されているデフォルトの CIMC パスワードを使用する必要があります。そうすると、別の強力なパスワードを設定するように求められるので、設定すれば続行できるようになります。(これで初めて、パスワードが要件を満たしていない場合に、システムが正しくプロンプトを表示するようになります)。

- c. デフォルトの NIC モードは [専用 (Dedicated)]、NIC 冗長性設定は [なし (None)] のままにしておくことをお勧めします。
8. 変更を保存するには、**F10** キーを押し、**Esc** キーを押して終了します。



Note CIMC がこの Expressway で有効になりました。

9. 周辺機器とアダプタを切断します。

タスク 2: リモートホストから CIMC を実行し、Serial Over LAN を有効にする (1 回限り)

ステップ 1 Web ブラウザで、直前のタスクで設定した CIMC IP アドレスに移動します。デフォルトでは、セキュリティのために `https://` を使用して CIMC にアクセスする必要があります。つまり、ブラウザのナビゲーションバーに `https://x.x.x.x` と入力します。`x.x.x.x` は IP アドレスを表します。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- スタティック IP アドレスを使用する場合は、**タスク 1** で設定したパスワードを使用してログインします。

Note **タスク 1** で設定した新しいパスワードが十分に強力でない場合、システムがその時点で通知を行わないという既知の問題があるため、**デフォルト**のパスワードを入力し、かつ強力な別のパスワードを設定するように求められるので、そうします。これにより、続行できるようになります。新しいパスワードは、**CIMC パスワード要件**に記載されている条件を満たしている必要があります。

- DHCP を使用する場合は、強力なパスワードを定義して、提供されたデフォルトのパスワードを上書きします。新しいパスワードは、**CIMC パスワード要件**に記載されている条件を満たしている必要があります。

タスク 3 : Expressway コンソールに接続する (必要に応じて随時)

- ステップ 3 左上隅にあるメニューの矢印をクリックします。
- ステップ 4 [計算 (Compute)] > [リモート管理 (Remote Management)] > [Serial over LAN] に移動します。
- ステップ 5 [Serial over LAN] プロパティで、[有効 (Enabled)] にチェックを付けて、[変更の保存 (Save Changes)] をクリックしますこの手順は、Serial over LAN がデフォルトで無効になっている場合に必要です。
-

タスク 3 : Expressway コンソールに接続する (必要に応じて随時)

- ステップ 1 ターミナルエミュレータで SSH を使用して CIMC IP アドレスに接続します。
- ステップ 2 デフォルトのユーザー名 *admin* と CIMC パスワードを入力して、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3 *connect host* を入力し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 4 これで、Serial over LAN により Express コンソールに接続されました。
- インストールウィザードが表示されるまで待機してから、「[インストールウィザードを実行する](#)」の項に進みます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。